

## Peppolが輝かせる「主役」たち ～SHIFT、デジタルインボイスの「自分ごと」化～

2026年3月9日、デジタル庁は、株式会社SHIFTとの間で、政府調達システム（GEPS）に対するデジタルインボイスでの請求について「振り返り」を行いました。

株式会社SHIFTは、マイナポータルアプリ及び統合アプリのテスト支援の調達に係る業務等をサポートしており、その請求について、GEPSに対するデジタルインボイスの方法にて請求を行いました。



株式会社SHIFT

左から 公共事業部長 篠原氏、公共営業 鈴木氏、営業管理 宍戸氏、公共営業部長 豊田氏

「振り返り」では、宍戸氏より「普段からお客様のご要望に応じて柔軟に請求業務を実施しており、送信方法がデジタルインボイスであっても不安はなかった。また、デジタル庁のツールは直感的に理解できる設計で、誰でも大きなミスなく扱える印象。実際に請求する際も迷いなく入力を進められた」との感想がありました。

そのうえで、鈴木氏から「紙やPDFでのやり取りに比べて手間が減り、入力から送信までがスムーズに進む点は非常に便利。こうした仕組みが標準になれば、請求業務全体の効率化にもつながると感じた。今回の取組はデジタル化による業務のしやすさを実感する機会となった」といった取組に関する評価がありました。

その常識、変えてみせる。

**SHIFT**